

認知能:柄澤式「老人知能の臨床的判定基準」

	判定	日常生活能力	日常会話・意志疎通	具体例表示
正常	(-)	社会的、家庭的に自立	普通	活発な知的活動 持続(優秀老人)
	(±)	同上	同上	通常の社会活動と 家庭内活動可能
異常 衰退	軽度(+1)	・通常の家庭内行動ほぼ 自立 ・日常生活上助言や介助 は必要ないが、あっても 軽度	・ほぼ普通	・社会的な出来事への 興味や関心が乏しい ・話題が乏しく、限ら れている ・同じことを繰り返し話 し、尋ねる ・今までできた作業 (事務、買い物、家事 など)ミスまたは能力 低下が目立つ
	中等度(+2)	・知能低下のため日常生 活が一人ではちょっと おぼつかない ・助言や介助が必要	・簡単な日常会話 はどうやら可能 ・意志疎通は可能 だが不十分、時間 がかかる	・慣れない状況で場所 を間違えたり道に迷 う ・同じ物を何回も買い 込む ・金銭管理や適正な 服装に他人の援助 が必要
	高度(+3)	・日常生活が一人では とても無理 ・日常生活の多くに助言 や介助が必要、あるいは 失敗行為が多く目が離せ ない	・簡単な日常生活 すらおぼつかない ・意志疎通が乏しく 困難	・慣れた状況でも場所 を間違えたり道に迷 う ・さっき食事したこと、 さっき言ったことすら 忘れる
	最高度(+4)	同上	同上	・自分の名前や出生 地すら忘れる ・身近な家族と他人の 区別もつかない

原則として、重い方を重視する

(柄澤昭秀:行動評価による老人知能の臨床的判定基準. 老年期痴呆 3:82 1989)